

【グラウンドルール：向台グラウンド特別規定】

1. 向台グラウンド（外野フェンスが無い場合）

- ① 外野フェンスとみなして、コーンを設置する。
- ② コーンを結んだ線を、外野フェンスの境界線とします。（以降、「外野フェンス」と記載）
- ③ フェア地域の延長において、打球がインフライトで、外野フェンスを超えた場合は、ホームランとします。
- ④ 両翼（レフト・ライト）にあるボールをフェア地域からインフライトで超えた場合は、ホームランとする。（ボールの落下地点がファール地域であっても、基準は両翼にあるボールとすること）

尚、フェア地域内で、打球がインフライトで野手のグローブに触れた後に、外野フェンスを越えた場合もホームランとします。

追記：フェア地域の延長戦で、野手が外野フェンスを越えてインフライトのボールをキャッチした場合は、ホームランとします。また、外野フェンスを越えたファール地域内で、インフライトのファールボールをキャッチした場合は、ナッシング（無効）とします。

- ⑤ フェア地域内で、インフライトの打球をキャッチして、外野フェンスの外に出た場合は、ボールデッドになり打者はアウト。（ボールキャッチによるアウトであり、外野フェンスを越えて、ボールを落とした場合は、上記④記載のとおりホームランとします）
尚、ランナーがいるときは、投球当時の塁を基準としてランナーに1つの塁を与える。
- ⑥ フェア地域内から、ゴロで、外野フェンスを越えた場合は、2個の塁を与える。ランナーがいる場合は、投球当時の塁を基準として、2個の塁を与える。
- ⑦ 上記規定に、記述にない事案が発生した場合は、審判員で判断する。

2. 向台グラウンド（フェンスがある場合）

- ① 外野フェンスの上部を外野フェンスの境界線とします。
- ② 打球が、フェア地域内から、ゴロで、外野フェンスを越えた場合、及び外野フェンスに当たり、そのまま外野フェンスを越えた場合は、2個の塁を与える（テイクツールの扱い）ランナーがいる場合は、投球当時の塁を基準として、ランナーに2個の塁を与える。

- ③ その他事項は、上記「1, 向台グラウンド（外野フェンスが無い場合）」に準ずる。
- ④ 上記規定に記述にない事案が発生した場合は、審判員で判断する。

以上

記載日 令和6年8月7日